のおがた

議会だより

8月臨時会

- ◆令和2年度直方市一般会計補正予算（専決）を承認
- ◆業務委託契約の締結について（直方市庁舎防災減災・低炭素設備等導入事業委託）を可決

8月臨時会に提出された議案とその結果

【報告】 ※ 報告

議案第6号 専決処分事項の報告について（市営住宅家賃滞納に係る民事調停）

【専決】 ※ 承認

議案第64号 専決処分事項の承認について（令和2年度直方市一般会計補正予算（第5号））

【その他】 ※ 原案可決

議案第65号 業務委託契約の締結について（直方市庁舎防災減災・低炭素設備等導入事業委託）

9月定例会

- ◆直方市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正
- ◆令和2年度直方市一般会計補正予算を可決

9月定例会に提出された議案とその結果

【報告】 ※ 報告

- 報告第7号 直方市土地開発公社の経営状況について
- 報告第8号 公益財団法人直方文化青少年協会の経営状況について
- 報告第9号 一般財団法人直方市福祉会の経営状況について
- 報告第10号 令和元年度直方市の財政の健全化判断比率について
- 報告第11号 令和元年度直方市上頓野産業団地造成事業特別会計の資金不足比率について
- 報告第12号 令和元年度直方市水道事業会計の資金不足比率について
- 報告第13号 令和元年度直方市下水道事業会計の資金不足比率について
- 報告第14号 令和元年度直方市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について

【決算】 ※ 認定

- 議案第66号 令和元年度直方市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第67号 令和元年度直方市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第68号 令和元年度直方市同和地区住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第69号 令和元年度直方市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第70号 令和元年度直方市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第71号 令和元年度直方市上頓野産業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【決算】 ※ 原案可決及び認定

- 議案第72号 令和元年度直方市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- 議案第73号 令和元年度直方市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

【予算】 ※ 原案可決

- 議案第80号 令和2年度直方市一般会計補正予算（第6号）
- 議案第81号 令和2年度直方市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案第82号 令和2年度直方市水道事業会計補正予算（第2号）
- 議案第83号 令和2年度直方市一般会計補正予算（第7号）

【条例】 ※ 原案可決

- 議案第74号 直方市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第75号 直方市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

【人事】 ※ 原案同意

- 議案第78号 直方市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第79号 人権擁護委員候補者の推薦について

【選挙】

- 選挙第1号 直方市選挙管理委員選挙
- 選挙第2号 直方市選挙管理委員補充員選挙

【その他】 ※ 原案可決

- 議案第76号 市道路線の認定について
- 議案第77号 市道路線の廃止について

議案の内容

8月臨時会と9月定例会で提案された議案の中から、業務委託契約の締結、直方市子ども医療費の支給に関する条例の一部改正、一般会計補正予算及び令和元年度決算の認定の一部についてご紹介します。

8月臨時会の主な議案とその内容

◆業務委託契約の締結（直方市庁舎防災減災・低炭素設備等導入事業委託）

市庁舎の電気・空調設備の老朽化に伴う機器更新を環境省の「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業補助金」を活用し、自立運転 GHP（ガスヒートポンプエアコン）、LED 照明、太陽光・蓄電池及びエネルギーマネジメント設備を新たに導入する事業の業務委託契約の締結について可決しました。

これらの設備導入により、市庁舎が有する災害発生時の対策拠点の機能整備と共に、環境省が進める低炭素化社会の実現に貢献することとなり、年間当たりエネルギー費用約350万円（CO₂約156t相当）の削減が可能になる予定です。

【概要】

契約金額：8億9,072万6,616円

工事期間：令和2年9月～令和3年1月末（予定）

工事業者：株式会社ハッセイ（北九州市八幡西区市瀬一丁目2番1号）

◆令和2年度直方市一般会計補正予算（第5号）【専決】

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策として実施する事業のうち、特に緊急に対処する必要があるものについて、所要の予算措置を行ったものです。これらは、去る7月15日付け専決第8号をもって専決処分されており、主な事業として、ひとり親世帯臨時特別給付金（注1）、直方市家賃軽減支援交付金（注2）、感染症対策強化などの業務を支援するスクール・サポート・スタッフの小中学校への配置などがあります。

歳入歳出それぞれ1億6,426万7千円を追加し、総額は346億7,619万3千円となります。

（注1）ひとり親世帯臨時特別給付金（9,580万円）

新型コロナウイルス感染症の影響により子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に、特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえて、こうした世帯の子育て負担の増加や収入減に対する支援を行うため、臨時特別給付金の支給を行います。

（注2）直方市家賃軽減支援交付金（5,183万8千円）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上が減少した事業者に対して、事業の継続を支援するため、国の家賃支援給付金の給付を受けた事業者に対して、県の給付に合わせて上乗せで家賃の15分の1を支給します。

9月定例会の主な議案とその内容

◆直方市子ども医療費の支給に関する条例の一部改正

現在、本市の子ども医療費の助成に関しては、通院については小学校6年生まで、入院については中学校3年生までを助成対象としています。今回の改正は、令和3年4月から、福岡県が子ども医療費の助成対象を通院・入院とも中学校3年生までに拡大することから、本市も県の制度に合わせて、通院に係る医療費の助成を中学校3年生まで拡大しようとするものです。

所得制限については、現行の小学校6年生までと同様に中学生についても設けないこととし、自己負担額については、県の制度に合わせて、1医療機関当たり月額1,600円が上限となります。

↪ 3ページへ続く

↳ 2 ページの続き

◆令和2年度直方市一般会計補正予算（第6号・第7号）

今回の補正予算は、国の2次補正予算で交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び国・県の新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金を活用した新型コロナウイルス対策の関連事業や河川改修、街路事業の県営事業負担金、7月6日から7日の集中豪雨による災害応急・復旧事業費並びに市営住宅や道路、農業施設などの維持補修費の不足分などが主として計上されました。歳入歳出それぞれに10億4,122万1千円を追加し、総額が357億1,741万4千円となります。

★新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の主な事業

- LINEを活用した新しい生活様式PR事業 500万円
- ハザードマップ等防災ブック作成事業（注3） 847万円
- 住民税申告における申告者の混雑回避事業 42万9千円
- 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業（障がい福祉施設等支援） 1,100万円
- 健康増進事業費（健康状態の自己管理等） 360万2千円
- 地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業 465万円
- 集団健診会場における感染防止対策事業 66万円
- 乳幼児健康診査個別実施支援事業
 - 4カ月児健診 117万9千円
 - 7カ月児健診 120万2千円
 - 1歳6カ月・3歳6カ月児健診 717万8千円
- 感染拡大防止のための施設消毒事業（幼稚園・保育所・学童クラブ） 150万円
- 公立保育園の延長保育事業に係る感染拡大防止対策補助金 50万円
- 農業活性化事業費補助金 1,900万円
- デジタル化推進事業 1,521万8千円
- コワーキングスペース整備補助金 500万円
- 行政課題解決型IoT等の開発実証事業 1,000万円
- 小学校・中学校保健室エアコン整備事業 955万8千円
- 小学校・中学校保健特別対策事業 1,900万円
- 中央公民館施設予約システム構築事業 440万円
- 高齢者タクシー料金助成事業（注4） 6,670万円

（注3）ハザードマップ等防災ブック作成事業

現在の本市のハザードマップは、浸水想定区域、土砂災害警戒区域や指定避難所を標記した校区ごとのA2判の地図タイプ1枚ものとなっていますが、今回、作成しようとしているハザードマップは、地域ごとのハザードマップに車中泊避難場所などを追加し、災害に対する事前の備え、防災情報の収集方法、避難の考え方や避難時に必要なもの、注意点などを災害ごとに1冊にまとめたB4判50ページ前後の冊子タイプを予定しています。その中には、新しい生活様式を考慮した避難所での新型コロナウイルス感染対策なども盛り込む予定です。

（注4）高齢者タクシー料金助成事業

75歳以上の高齢者を対象として、3密が予想される公共交通機関を避け、必要な外出を行うためにタクシーチケット（初乗り運賃650円分×10枚）を配布して、移動の支援を行います。

◆令和元年度直方市一般会計歳入歳出決算の認定

議会の決算審議は、予算審議とともに重要な案件であり、収支の当否について（会計検査）や、議会の議決にのっとって執行され、行政効果を上げたか（行政審査）など検討したことを確認するもので、今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てる大きな意義があります。市議会は行政の監視役として、今後も厳しくチェックしていきます。

【実施した主な事業】

- 汚泥再生処理センター建設事業関連 12億8,042万9千円
- 中泉中央市営住宅建築工事関連 3億3,368万4千円
- 直方中央公園整備事業関連 6,405万9千円

委員会 の審査

各常任委員会は、9月17日、18日に開催され、付託された議案について審査しました。

総務常任委員会

令和2年度直方市一般会計補正予算（直方市消防団第7分団第2部格納庫建替事業費について）

直方市消防団第7分団第2部格納庫建替事業費について、契約の不履行により今年度の執行が見込めないとの説明を受けたことから、その理由について質疑を行いました。

これに対して所管課から、今回の事業は工事の区分を「建物工事」「電気設備工事」「管工事」の3つに分けて入札を行い、「建物工事」について、入札は成立したものの、落札業者が契約の締結期限までに下請業者が見つからないことを理由に契約ができなかったためとの答弁がありました。

た。

この答弁を受け委員会としては、落札業者が下請業者を見つけないことができなかった理由について質疑を行いました。

これに対して所管課から、建設工事で使用される杭について、今回の工事箇所が軟弱な地盤であり、通常の杭とは異なる特殊な杭を使用しなければならず、その杭工事に対応できる下請業者との調整を期間内に見つけることができなかつたとの答弁がありました。

委員会としては、さらに議論を交わす中、今回のような契約不履行については、あまり例がないことから、これまでの経過と合わせて、事前にきちんと説明するとともに、業者に対しても行政としてしっかりと指導するよう要望しました。

令和元年度直方市一般会計歳入歳出決算の認定（直方いこいの村について）

直方いこいの村について、建物の老朽化や空調などの機械設備の更新には高額な費用を伴うことが見込まれる中、基金を積み立て

ていることも含め、今後の方針について質疑を行いました。

これに対して所管課から、建物の改修や機器の更新に多額の費用を要することから、今後の在り方については直方いこいの村を運営する「株式会社 直方」と協議を重ね、検討していくとの答弁を受け、採決の結果、認定すべきものと決定しました。

教育民生常任委員会

令和元年度直方市一般会計歳入歳出決算の認定（火葬場修繕料について）

本市の火葬場については、平成28年度以降、多額の修繕料がかかっている状況であることから、今後の対応策について質疑を行いました。

これに対して所管課から、火葬炉だけでなく設備全体が老朽化しているため、火葬場の長寿命化計画策定を政策目標の重点課題とし、早急に対応していくとの答弁がありました。

委員会としては、今後、

市民に迷惑がかららないように適切な改修を行うよう要望しました。

令和元年度直方市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定（国民健康保険の県単位化について）

いずれも適正な予算執行であるとの意見が多数を占める中、平成30年4月からスタートした国民健康保険の県単位化は、市町村独自の施策がとりづらくなる上、保険者努力支援といった市町村間で競わせるような制度そのものに問題があり、賛成できないとの反対討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

直方市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について

子ども医療費の支給について、県が通院・入院とも中学校3年生までに対象を拡大することから、本市も県の制度に合わせて、令和3年4月から通院の助成対象を中学校3年生までに拡

大するための改正です。その具体的な内容は、所得制限について現行同様に中学生についても設けないことや、自己負担額についても県の制度に合わせることで、中学生に対しても子ども医療証を交付する等です。

委員会としては、医療証については、長期間使用に耐え得る工夫を検討するよう要望し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

産業建設常任委員会

令和2年度直方市水道事業会計補正予算（上水道マップングシステム窓口用タッチパネルシステム構築業務委託料について）

上水道マップングシステム窓口用タッチパネルシステムは、来庁者の方が、自分で操作して管路情報や給水情報を調べることができるとともに、待ち時間の短縮、業務の効率化等の効果が期待できるものであるとの説明でした。

委員会としては、下水道課への来庁者も重複するであろうことから、上水道のシステム整備のみで新型コロナウイルス感染症防止対策や業務の効率化としての効果が十分に発揮されるとは言い難いことから、上・下水道一体的に取り組むことができないのかについて質疑しました。

可決すべきものと決定しました。

人事案件

(敬称略)

◆直方市固定資産評価審査委員会委員

森 幸太郎

(選任に同意)

◆人権擁護委員候補者

香 月 久美子

(法務大臣に推薦)

市道路線の認定について

今回の市道認定は、県による都市計画道路・境口鴨生田線関連の道路整備事業、いわゆる勘六橋2期工事の実施に先立ち、整備される側道の認定を行おうとするものです。

委員会としては、これまで本事業の経過報告等がなかったこともあり、本件のような市道認定にあたっては今後、関連事業等の進捗状況及び経過報告の説明を丁寧に行うようにと意見を述べた上で、採決の結果、

意見書

今定例会では、次の意見書が提出され、採決の結果可決しました。可決した意見書を、関係行政庁等に送付しました。

◎教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

◎地方財政の充実・強化を求める意見書

◎医療機関への更なる経営支援を求める意見書

◎全企業に対して「永久劣後ローン」融資制度の創設を求める意見書

◎新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書

主な送付先は衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣ほか関係行政庁等大臣。

一般質問

9月定例会の一般質問は、9月8日から11日の4日間行われ、14名の議員が市政の各分野にわたって質問しました。一般質問は、議案と関係なく市政全般にわたり執行機関に対して、執行状況や将来に対する方針などについて所信を質したり、報告、説明を求めるものです。

三根 広次 議員

質問 新型コロナウイルス感染症拡大による社会情勢の悪化が本市に与える影響について

新型コロナウイルス感染症拡大は、地域経済に大きなマイナス影響を及ぼしている。また、新型コロナウイルス感染症拡大による地域経済の悪化は税収減により地方財政へ影響が及び、その影響は長期化する可能性がある。

本市におけるこの影響についての現状と今後の対策・考え方を問う。

答弁 感染拡大防止から3密となる会議や研修会、また感染地への出張等は制限され、事業の進捗に影響が及び、来年度に延期や中止となっている事業がある。

課税所得の減少に加え、税の徴収猶予や減免などによる収入の減で予算の削減や事業の見直しも考えられるが、国の補填や減収補填債などの財源手当てもあることから、大きな施策の見